

DC セミナー

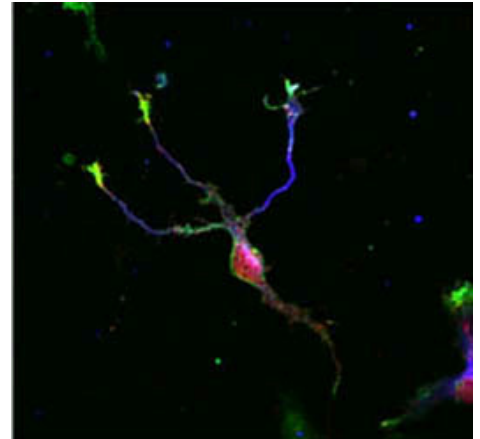
細胞接着分子カドヘリンについて

講師： 平野伸二先生

(高知大学医学部 神経生物・解剖学講座)

とき： 9月30日(木曜) 16時00分

ところ： 総合研究棟 2階, 会議室 3



カドヘリンは 1982 年に竹市らが発見したカルシウム依存性の細胞接着分子である。カドヘリンは動物の“かたち”づくりに重要であるばかりか、神経回路形成やシナプスの可塑性にも関与していることが知られている。また、カドヘリンスーパーファミリーに属する分子は 100 種類以上になり、それぞれの構造と機能は多岐にわたっている。本セミナーでは、自らの研究や竹市研究室での研究も交えつつ、カドヘリンに関するこれまでの知見をわかりやすく紹介する。

【主な内容】

カドヘリンの発見

カドヘリン分子の特徴

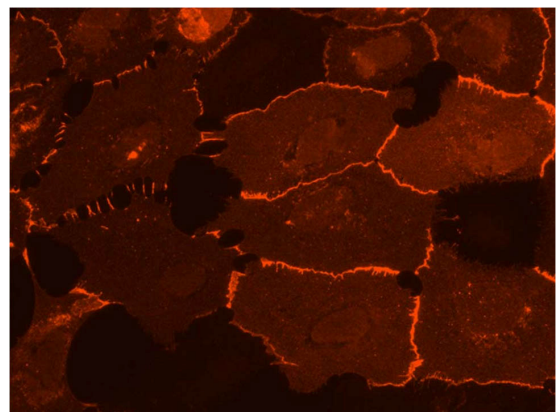
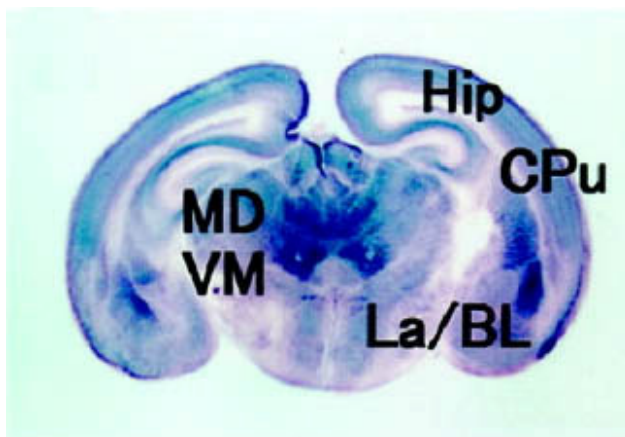
カドヘリンスーパーファミリー

カドヘリンと細胞接着装置

形態形成におけるカドヘリンの役割

神経系におけるカドヘリンの役割

疾病とカドヘリン



できるだけ簡単に話していただきます。

学部学生・修士課程の皆さんも、ぜひ気軽に参加してください。

お問い合わせは、理学部応用理学科・藤原 (tatataa@kochi-u.ac.jp) まで